

広報 の み

Nomi City News Letter

12月号

2021 No.203
広報能美

今年も大きな
丸いものが採れました



主な
内容

- 市表彰受賞者・危険業務従事者叙勲受章者のご紹介
- 新型コロナワクチンの接種について
- 第49回衆議院議員総選挙の結果
- SDGs「地域や暮らしに関する市民アンケート」の結果



— 危険業務従事者叙勲 —

特
集

危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章

森谷 多喜雄 さん
福岡町

陸上自衛官として、当時は山を削って、道路や学校の基礎を作る部外工事や災害派遣、小規模な不発弾処理などを実施してこられました。

受章に際し、「現役時代の仕事を認めていただきまして、深く感謝しております。また先輩、同期、後輩がいたからこそだと思っております。ありがとうございました」と述べられました。



平田しおりさんが母校の生徒たちにエール

東京 2020 オリンピック射撃競技に出場した平田しおりさんが、11月16日、母校の根上中学校で講演しました。

平田さんは同中学校3年生に向け、中学時代のことやオリンピック出場までの道のり、オリンピックを通して感じた世界のレベルの高さなどについて語り、生徒たちはここでしか聞けない貴重な話を、真剣な表情で聞き入っていました。生徒からは気持ちの切り替え方や普段から気をつけていること、プライベートなことなど、さまざまな質問が上がり、一つ一つ丁寧に答えた平田さん。

最後に、これから受験を迎える3年生に向け「志望校合格に向け、一生懸命頑張ってください」とエールを送り、「パリオリンピックに向け、日々の練習と試合を頑張ります」と決意表明しました。



「一生懸命取り組む姿勢が大切」と話す平田しおりさん

— 能美市表彰 —



市表彰 スポーツ特別賞

石立 真悠子 さん
三重県（福島町）

写真提供：Yukihito TAGUCHI/JHA

ハンドボール女子日本代表として東京 2020 オリンピックに出場し、市民に明るい希望と感動を与え、本市の名声を高められました。



市表彰 スポーツ特別賞

平田 しおり さん
神奈川県（大成町）

射撃競技日本代表として東京 2020 オリンピックに出場し、市民に明るい希望と感動を与え、本市の名声を高められました。



功績をたたえて

11月3日、根上総合文化会館で能美市表彰式が行われ、長年にわたり、地方自治や教育文化、消防、スポーツの各分野で功績のあった6名の方々が表彰されました。また、10月21日付けで発表された「危険業務従事者叙勲」では、元准陸尉の森谷 多喜雄さんが受章されました。

— 能美市表彰 —



市表彰 自治功労賞

能登 正一 さん
下ノ江町

能美市公平委員として12年1か月にわたり在職され、その間、委員長を務められ、公正公平な人事行政の推進に尽力されました。



市表彰 自治功労賞

近藤 悦子 さん
粟生町

保護司として旧寺井町とあわせて22年1か月にわたり在職され、罪を犯した人や非行のある少年たちの円滑な社会復帰を助けるなど更生援護に尽力し、犯罪や非行のない明るい地域社会づくりに寄与されました。



市表彰 教育文化功労賞

亀田 美穂 さん
泉台町

教育委員として12年にわたり在職され、児童生徒の学力向上を目指した教育の推進や不登校児童生徒について助言を行うなど、地方教育行政の振興に尽力されました。



市表彰 公益功労賞

浅田 薫 さん
西任田町

消防団員として旧根上町とあわせて41年4か月にわたり在職され、その間、能美市消防団長を6年間務められ、機能別分団、女性分団の創設など、防災体制と消防団組織力の強化充実に尽力されました。

小松・能美の両市長が ゆるキャラの役割について意見交換

Hot
news

10月30日、北陸先端科学技術大学院大学で北陸4大学連携まちなかセミナー「ゆるキャラがつなぐ人と地域」が開催され、小松市の宮橋市長、井出市長などが参加し、ゆるキャラの役割について意見交換しました。

能美市の「ひば能ん」「ゆず美ん」と小松市の「カブッキー」も登場し、両市長がキャラクター誕生の経緯を紹介。井出市長は「公式キャラクターは、地域資源を由来としており、意味が込められている。一目でわかる発信力があり、親しみと興味を持ってもらえる。市外の人に市をPRすることと、市民のふるさと愛の醸成にターゲットを分けて活動している」と説明しました。



市公式キャラクターの説明をする井出市長
(左から2人目)



自治体などのゆるキャラも参加しました

能美根上駅から市の魅力を発信 駅から「のみバス」を利用しやすく

能美根上駅改札前にデジタルサイネージを設置しました。市内の風景や各種施設の魅力を伝える映像に加え、イベント情報や市からのお知らせなどを発信しています。

また、駅東口ステーションギャラリーには地元企業の JOLED 製有機 EL ディスプレイ能美モデル2台を設置し、観光PR動画を上映しています。

さらに、駅東口には「のみバス」乗り場への誘導標示を設置し、バス乗り場には「のみバス」で行ける市内観光施設や景勝地などの案内表示を設置しました。



デジタルサイネージ (右)



有機ELディスプレイ能美モデル (両端)



駅東口バス乗り場誘導標示 (路面)



駅東口バス乗り場誘導標示 (壁面)



案内表示 (駅東口バス乗り場)

新型コロナウイルスワクチンの接種について

2回目接種終了から概ね8か月以上経過した方が対象です 追加接種 (3回目接種) について

新型コロナウイルスワクチンの追加接種 (3回目接種) についての方針が国から示されました。市では、国の方針に基づき順次接種を実施します。

接種に関する詳しいスケジュールについては、改めてお知らせします。

※令和3年11月17日時点の情報です。今後変更になる場合があります。

2回目接種時期	主な対象者	接種券発送時期	追加接種 (3回目) 時期
令和3年3～4月	医療従事者	令和3年11月下旬	令和3年12月予定
令和3年5月	医療従事者 高齢者施設入所者および従事者	令和3年12月中旬	令和4年1～2月予定
令和3年6月	高齢者など	令和4年1月下旬	令和4年3月予定

2回目接種時期が令和3年7月以降の対象者の方には、接種時期に合わせて接種券を順次発送予定です。

新型コロナウイルスワクチン接種に関する最新情報は、市ホームページで公開しています

市ホームページQRコード



問い合わせ

能美市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

☎0570-050670

【平日9時～17時】(電話が繋がった後から通話料がかかります)

年末年始の休業日は12月29日(水)～1月3日(月)です



第49回衆議院議員総選挙の結果

10月31日、第49回衆議院議員総選挙の投開票が行われました。能美市における各選挙の投票率・得票数は次のとおりです。

<投票率>

小選挙区選出議員選挙：61.68%

比例代表選出議員選挙：61.68%

< 比例代表 得票順 >

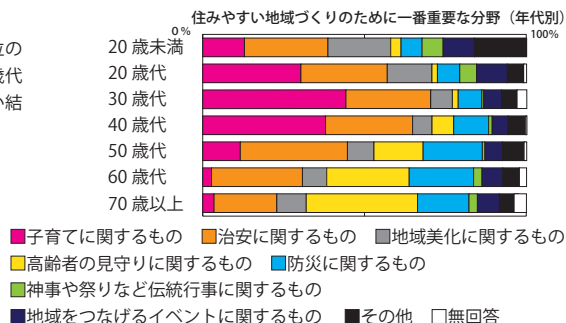
得票順位	名簿届出政党等	得票数
1	自由民主党	11,912 票
2	立憲民主党	3,263.715 票
3	日本維新の会	2,807 票
4	公明党	2,303 票
5	日本共産党	1,281 票
6	国民民主党	900.284 票
7	れいわ新選組	873 票
8	社会民主党	440 票
9	NHKと裁判してる党 弁護士法72条違反で	338 票
※無効		758 票

< 小選挙区 得票順 (敬称略) >

得票順位	候補者氏名	届出政党	得票数
1	佐々木 紀	自由民主党	19,438 票
2	坂本 浩	日本共産党	3,419 票
3	山本 保彦		1,036 票
※無効			983 票

4 重要な「安全・安心なまちづくり」

「まちづくりに重要なものは」の全体の1位の回答は、「治安に関するもの」でしたが、30歳代では「子育て環境」が重要との回答が一番多い結果でした。



5 能美市が目指すSDGsとは

能美市のSDGsは「人を思いやる」「技を極める」「未来へつなぐ」お人柄を深め、磨くことに力を注いでいきます。「まちづくりはひとづくり」ともいわれるように、多くの人たちに支えられて私たちのまちは成り立っています。人と人の支え合いや信頼関係、もっと良くしたいという向上心が、未来を創っていきます。

市民・地域・企業・行政が一体となってSDGsに取り組み、「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」を目指していきます。



のみSDGs円卓会議・専門分科会でアンケート結果を活用

市民・地域・企業・行政が一体となってSDGsに取り組む具体策を考える「のみSDGs円卓会議」と「専門分科会」を発足させ、さまざまな立場の人たちが集まり、話し合いが行われています。具体策のテーマとして、「情報発信・相談窓口」「パートナーシップ制度」「市独自のSDGs指標」が設けられ、来年度の具現化を目指しています。

10月27日に開催した専門分科会において、アンケート結果が報告され、地域に対する市民の思いや地域活動の実情などを共有しました。アンケート結果から明らかになった地域課題を踏まえ、3つの具体策を検討していきます。

次の3テーマの具現化に向け、のみSDGs円卓会議や専門家を交えた分科会を開催していきます。

情報発信
相談窓口

パートナー
シップ制度

独自の
SDGs
指標



のみSDGs専門分科会の様子

SDGs 未来都市

～地域や暮らしに関する市民アンケート結果をお知らせします～

問 / 市長戦略課 SDGs 推進室 (☎ 58-2220 ☎ 58-2291)

地域や暮らしに関する市民アンケートとは

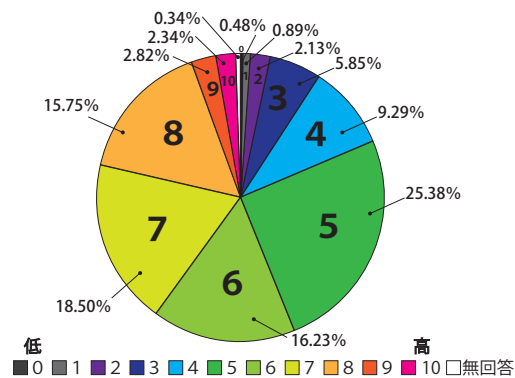
SDGsを通した持続可能なまちづくりの推進に向けて、市民が地域に対して感じていることや、人と人のつながり、身近な市民活動などに対する関心度合などを把握することを目的に実施したアンケートです。

アンケート調査方法

- 調査対象 満18歳以上の市民3,000人
- 抽出方法 無作為抽出
- 調査時期 令和3年3月下旬
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 回答数(回収率) 1,454通(48%)

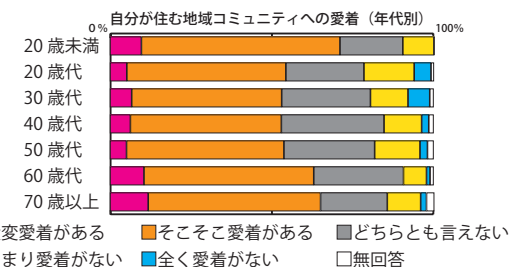
1 高い生活満足度

満足度を0～10で評価する質問では、高い満足度を示す6～10と評価した割合が全体の55.8%でした。年齢別では特に20歳未満が77.4%と突出して高い一方、70歳以上では45%と、世代間の差がみられました。



2 地域の愛着は若い世代が高い結果に

地域の愛着についての質問では、20歳以上から70歳まで「そこそこ愛着がある」がいずれの世代も約50%で1位でしたが、特に20歳未満では「大変愛着がある」を含めて71%と高い地域愛着度を示しています。



3 地域活動に参加しきれていない若い世代

強い地域愛を持つ若い世代ですが、「地域活動に参加していない」との回答が約74%となっており、地域活動のあり方を見直す必要があります。

